

在宅看護方法論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩淵 光子 准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座、看護専門基礎講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

・学習方針（講義概要等）

在宅療養者の対象特性を理解し、対象別に看護過程を展開する方法を学修する。目標は、高齢者、終末期、難病および医療ニーズの高い人に対する訪問看護技術を習得する。加えて、対象に応じた看護過程の展開について具体例を通して地域で生活する療養者を支える看護職の役割・機能を理解する。また、退院支援を学び、在宅療養者と家族の生活の質を高めるために社会資源を活用する方法を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

在宅看護の対象者の特性及び対象別の看護過程の展開を実施することにより、対象別の在宅療養者への看護援助等の説明ができ、在宅療養移行期、安定期、終末期の療養上の課題・ニーズをあげることができる。また、在宅療養上のリスク管理について理解し、療養者の生活の質を高めるための社会資源の活用について説明できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー： 4, 5, 6

・到達目標（SBO）

1. 生活における習慣や生きがい等の対象者の生活像の多様性とそれを尊重した支援を行うことの重要性を理解できる。
2. 在宅看護の対象別の療養上のリスクを理解し、対象の特性に対応した日常生活の援助および医療処置を伴う療養者・家族への援助について説明できる。
3. 対象者及び家族から情報収集を行い、アセスメント、目標の設定、計画の立案、評価の過程について説明できる。
4. 在宅療養移行期、安定期、終末期における療養上の課題・ニーズを挙げるができる。
5. 在宅看護における療養者と家族を支援するための具体的な社会資源の活用について考えることができる。

・ 授業日程

(矢) 西 1-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/21	水	2	地域包括ケア講座	岩淵 光子 准教授	<p>退院移行支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 療養の場の移行に伴う退院支援・退院調整が必要な対象者を列挙し、支援に関わる看護職の役割を説明できる ・ 退院支援に関わる多職種との連携を列挙し、退院支援に関するカンファレンスの目的と連携の必要性を説明できる <p>事前学修：在宅看護論① p.103-113 を読んで療養の場の移行に伴う看護および連携の必要性について把握しておく。</p>
9/28	水	2	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教	<p>在宅看護過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅療養者の多様性を理解できる ・ 訪問看護における看護過程の特徴を説明できる ・ 在宅療養者の特性に対応した看護過程の展開が理解できる <p>事前学修：在宅看護論① p.212-220 を読んで概要を把握しておく。</p>
10/5	水	2	地域包括ケア講座	岩淵 光子 准教授 赤井 純子 助教	<p>療養者・家族の生活：療養環境と快適な住まい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅における療養環境整備と健康の関係性を理解し、療養環境から生活の全体像を捉える必要性をできる ・ 療養環境をアセスメントの視点を説明できる <p>事前学修：在宅看護論② p.46-47 の居住環境のアセスメントを読んで、自分の家の間取りから、療養環境整備と健康の関係性を考えてくる。</p>

10/7	金	3	地域包括ケア講座	岩淵 光子 准教授 赤井 純子 助教	<p>在宅における生活ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養における生活ケアと医療的ケアの技術の必要性を説明できる ・在宅における生活ケア（食、排泄、清潔、移動）のアセスメントの視点と援助技術の特徴を説明できる <p>事前学修：在宅看護論① p.252-260 を読んで、在宅において重視するアセスメント内容を把握しておく</p>
10/14	金	4	看護専門基礎講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座	遠藤 龍人 教授 岩淵 光子 准教授 藤澤 純子 助教	<p>在宅における医療的ケア1（経管栄養法・中心静脈栄養）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経管栄養法を使用する療養者の特徴と、使用する薬剤の選択の視点が説明できる ・経管栄養や中心静脈栄養の療養者への看護が説明できる <p>事前学修： ・1年生で履修した「栄養学」の栄養補給法の選択について復習しておく。 ・在宅看護論② p.102-109 を読んで概要を把握しておく。</p>
10/19	水	2	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教	<p>在宅における医療的ケア2（薬物療法、がん外来化学療法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物療法、がん外来化学療法をしている療養者への看護が説明できる ・服薬管理が必要な療養者への看護が説明できる <p>事前学修：在宅看護論② p.108-117 を読んで概要を把握しておく。</p>

10/24	月	3	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教	<p>在宅における医療的ケア3(排痰ケア・在宅酸素療法・人工呼吸器療法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養者の呼吸機能と環境のアセスメントが理解できる ・在宅酸素療法や人工呼吸器を装着している療養者への看護が説明できる <p>事前学修：在宅看護論② p.117-137 を読んで概要を把握しておく。</p>
10/26	水	2	地域包括ケア講座	松岡 真紀子 助教	<p>在宅における医療的ケア4(排泄ケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尿道留置カテーテルやストーマ装着の療養者への看護が説明できる <p>事前学修：在宅看護論② p.127-134 を読んで概要を把握しておく。</p>
11/7	月	3	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教	<p>在宅で難病を抱える療養者と家族を支える看護 (ゲストスピーカー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筋萎縮性側索硬化症(ALS)の療養者と家族への看護について説明できる ・パーキンソン病の療養者と家族への看護について説明できる。 ・難病を抱えながら在宅での生活を送る意味を考えられる。
11/9	水	2	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教 赤井 純子 助教	<p>在宅看護過程の展開1 (グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅で療養する事例の概要を捉える ・グループで担当する在宅療養者と家族の看護に必要な情報収集の方法とアセスメントの視点が理解できる

11/14	月	3	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教 赤井 純子 助教	在宅看護過程の展開 2 (グループワーク) ・グループで担当する在宅療養者とその家族の生活上の課題について関連図を用いて説明できる
11/17	木	4	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教 赤井 純子 助教	在宅看護過程の展開 3 (グループワーク) ・グループで担当する事例の社会資源も含めた支援の方法を考えることができる ・在宅療養者の特性に対応した看護課題・ニーズを抽出できる。 ・看護課題・ニーズの優先順位を根拠に基づき説明できる。
11/28	月	3	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教 赤井 純子 助教	在宅看護過程の展開 4 (グループワーク・発表) ・グループで担当する事例の看護課題・ニーズについて発表できる。 ・他の事例から、在宅療養者と家族の看護課題・ニーズの特徴を説明できる
11/30	水	4	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教	在宅におけるエンド・オブ・ライフケア ・在宅で最期を迎える療養者への看護過程を説明できる ・自己決定(意思決定)への支援が理解できる
12/5	月	3	地域包括ケア講座	藤原 弥生 助教	総括 各事例の看護計画へのフィードバック ・グループワーク、全体ディスカッションを通じて、在宅で生活する療養者と家族の特性を理解して展開される看護の役割および多職種・多機関の連携を考えることができる

・教科書・参考書等

教：教科書

参：参考書

推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を 支えるケア	臺 有桂 他編	メディカ出版	2022
教	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を 支える技術	臺 有桂 他編	メディカ出版	2022
参	系統看護学講座 専門分野 地 域・在宅看護論 [1] 地域・在宅 看護の基盤	河原 佳代子 他	医学書院	2022
参	系統看護学講座 専門分野 地 域・在宅看護論 [2] 地域・在宅 看護の実践	河原 佳代子 他	医学書院	2022
参	関連図で理解する在宅看護過程 第2版	正野 逸子 他編	メヂカルフレンド社	2021
参	看護学テキスト NiCE 在宅看護論 自分らしい生活の継続をめざして	石垣和子 他編	南江堂	2017
参	家族看護を基盤とした地域・在宅 看護論 第5版	渡辺裕子 監修	日本看護協会出版会	2021

・成績評価方法

定期試験 70%、指定した提出課題 30% 合計 100%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・参考書等を用いて事前学修を行うこと。また、授業を受けた後は該当する内容を教科書等で復習し、ポイントを整理して次回の授業に関する課題に取り組む。各授業に対する事前学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・適宜、WebClass に授業中に解説した資料等を掲載するので確認すること。
- ・レスポンスカード・提出された課題については、授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。
- ・試験のあとは、WebClass に必要な解説を掲載する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 個人・家族・集団・組織の支援
 看護師（別表 3）：統合分野 在宅看護論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義および学生のグループ発表時資料投影
講義	DVD（ブルーレイおよび一般 DVD）再生機器	1	講義時資料投影
講義	デスクトップパソコン（HP ProDesk 400 G7 SFF）	1	講義資料の作成等